



地区インターアクト委員会

委員長 **上野 昌也**  
(大阪RC)

2008～2009年度インターアクト年次大会が9月28日（日）金光八尾中学校・高等学校にて「できることから始めよう」－Clean the stream－と題して開催されました。当日は、横山G、井上PG（新世代合同委員長会議議長）、6校のIACと提唱RC、地元の環境啓発団体アクアフレンズの皆さんなど、140名の参加で開催されました。

開会式の後、各校インターアクト代表からの活動報告があり、それぞれの学校で、募金や清掃活動、献血など、独自の活動内容の報告がありました。

続いて、今年度海外研修報告として、8月6日～10日まで3泊5日タイで開催された様子をビデオに編集したものを上映しインターアクトが現地で生き生きと交流等をする様子を改めて確認しました。

続いて、講演です。今年度は、環境保全団体アクアフレンズ代表世話人 美濃原弥恵講師により、「水の流れを追って～玉串川とコップ一杯の水から見えること～」という演題でお話いただきました。お話より、河川の実地検証を行い、玉串川の地域における役割や他の河川との繋がりなどの説明やタイの水事情を通して、改めて、水や環境の大切さを認識いたしました。

昼食後、理科室にて、玉串川に生息する生き物の見学および説明と水質調査方法の実験を行いました。魚が住むには、

水は、汚くてもダメですが、きれい過ぎてもダメなようです。ちょうどよい、適度の菌が必要なようです。その後、実際に、長靴を履いて、玉串川の清掃活動と実験で使わせていただいたためだかをもとの川に放流しました。今回も、積極的に、活動する生き生きとした、インターアクトの姿が印象的であり、実際に行動する事で改めて人が自然の中で生かされている事を実感したと思います。

インターアクトクラブの活動の中心は地域社会への奉仕と国際理解です。今後とも、時間や空間を超えて理解できる、それぞれの地域の美しい文化や自然を知り、尊重し合う事で、次世代を担う若い人たちの育成の一助となる事を願っております。

最後になりましたが、このような有意義な年次大会を企画運営されました金光八尾中学校・高等学校の皆様、八尾RCの皆様、また、当日お手伝い頂いたアクアフレンズの皆様にも心から感謝申し上げます。引き続き、次世代を担う若いインターアクトクラブへのご理解ご支援を宜しくお願いいたします。

